

男性不況

著者名	長濱利廣	充実した仕事に就きたい。でも、幸せな家庭も築きたい。 そんなあなたのための生き方バイブル。「夫の転勤をチャンスに変える方法」「子育てのサポーターを増やすヒント」「再就職のための学び」など、仕事と家庭を両立させてきた女性たちの体験談から。自分らしく幸せに生きるためのシンプルな習慣を探ります。心配しなくても大丈夫。きっとうまくいきます！
出版社	東洋経済新報社	
登録月日	H25.2	
登録番号	1352	

ダイバーシティーの教科書

著者名	前川孝雄、猪俣直紀、大手正志、田岡英明	1億総活躍社会の実現に不可欠なダイバーシティーがこの1冊でわかる！ 日本型ダイバーシティの推進を掲げる著者が現時点での様々な企業の取組を紹介しつつ、これからダイバーシティを進める企業に様々な示唆を与えるダイバーシティの入門書。
出版社	総合法令出版	

登録月日 H28.3

登録番号 1439

チームのことだけ、考えた。

著者名	青野慶久	かつて社員の離職率が28%にまで達するブラック企業だったサイボウズは、どのようにして社員が辞めない「100人100通り」の働き方が出来る会社になったのか？その奮闘のストーリーとともに、サイボウズがたどり着いた「多様性をマネジメントする手法」を詳細にした書籍です。
出版社	ダイヤモンド社	
登録月日	H28.3	
登録番号	1443	「最長6年間の育児・介護休業」「副業は原則自由」などのユニークな人事制度で知られる同社ですが、その根幹にある精緻な思考と試行錯誤の積み重ねが明かされます。

逃げる勇気

著者名	ソウチカシ 崇史	仕事は逃げるが勝ち！無駄を省き、安請け合はず、できる限り誰かに任せよう。
出版社	新潮社	いつも結果が出ないのは、「上手に逃げられない」から。才能の発揮を邪魔する、終わりの見えない残業、やっかいな頼みごと、一人で抱えてしまうタスク。そこから逃げられない原因の解消法から、理不尽な依頼の断り方、面倒な作業を押しつける技術まで。ビジネスパーソン必読、あなたの重荷を軽くして成功へと導く最高の仕事術。
登録月日	H28.3	
登録番号	1444	

男がつらいよ

著者名 田中俊之 寄贈男たるもの正社員として働き、結婚して、子どもをもち、さらにはイクメンになることが求められており、男性の役割・プレッシャーが大きくなっている。男性学という今注目分野でトップを走る著者が現実を切っていく。

登録月日 H28.3

登録番号 1448

ダイバーシティマネジメントの実践

著者名 東京都社会保健労務士会 就労人口が減少している今日、企業自身も生き残りをかけ、年齢・国籍の違いなどの個性を受入れたり、育児・介護休業制度の活用や病気・障害という困難の中でも力を発揮してもらうよう職場の環境を整えるなど、雇用の多様化に対応していかなければなりません。本書は各労働者層への対応事例を紹介し、実務に有用なQ&Aも収録しております。人事労務担当者はもちろん、労働者の方々にも今後の働き方を考えるために参考となる一冊です。

登録番号 1460

男性漂流

著者名 奥田祥子 寄贈 語られざる男性たちの苦悩を描いて、ベストセラーになった『男はつらいらしい』（新潮新書）。男たちはさらに歳を重ね、結婚、育児、介護、自らの老い、そして仕事に葛藤していた——。

出版社 講談社

登録月日 H28.3

登録番号 1462

18時に帰る

著者名 秋山 開 「世界一子どもが幸せな国」オランダの家族から学ぶ幸せになる働き方
出版社 プレジデント社 30年前迄のオランダは、"男性が働き、女性が家庭を守る。経済が低迷し将来への不安が募り出生率が下がる"など、日本と同じような課題を抱えていましたが・・・。『18時に帰る』という社会全体の合意がある国、オランダが選んだ働き方とは?

登録番号 1527

お先に失礼します!

著者名 中村 一 仕事以外にも“大事にしたい時間”があるあなたへ
出版社 KADOKAWA 残業をしない。休みをとる。ただ、それだけのことが、なぜこんなにも難しいのだろう? IT企業で7年間の原則定時退社を続け、半年間の育休を取得した3児のパパがたどり着いた残業しない働き方とは。

登録月日 H30.3

登録番号 1535

ワーク・ライフ・バランスと経営学

著者名 平澤克彦・中 男女共同参画に向けた人間的な働き方改革
村艶子 ひととしての生活向上のために、日本は今、働き方改革や女性活躍、
出版社 ミネルヴァ書房 男性の育児参加など、多くの課題に挑戦している。各国施策の特徴と
日本の実態を捉え直し、働きやすい職場環境とは何かを探る。

登録月日 H30.3

登録番号 1536

小さな企業が生き残る

著者名 金谷 勉 小さな会社でも“強み”は必ずある! 下請けのピンチを切り抜け
出版社 日経BP社 優れた技術を持ちながら、メーカーの海外移転や後継者不足などの影響で危機に瀕している中小企業は少なくない。苦境に陥った中小企業を再生させてきたデザイン会社社長が“生き残り”ノウハウを伝授する。

登録月日 H30.3

登録番号 1537

愛される男の自分革命

著者名 ドラ・トーザ パリジェンヌがそっと教えるあなたの磨き方
出版社 徳間書店 愛される男になるための、「3大自分革命」を基本軸に、ユーモアを
交え楽しく、ときに辛口に、ニッポンの男性が現在抱えている諸問題解決への具体的な事例や体験エピソードも多彩に交えながら、人生の極意をアドバイスします。

登録月日 H30.3

登録番号 1544

イクボスの教科書

著者名	日経DUAL	時短・介護社員を生せば、チームがうまく回りだす！管理職のための「働き方改革」の虎の巻
出版社	日経BP社	働き方改革を推進する企業にとって、長時間残業削減・子育て社員の両立・父親の育休推進・女性活躍・介護と仕事の両立など、取り組まなければならぬ課題は多い。管理職や経営者が読むべき「ダイバーシティ時代のマネージメント教科書」の決定版。
登録月日	H30.8	
登録番号	1546	

とまどう男たち 生き方編

著者名	伊藤公雄・山中浩司	男子として生まれた不幸はある。男は何に気付いたら良いのか。「男」は病気か？ 息子に「お前は幸せかい？」と尋ねる親はどちらいいいるだろうか。男子として生まれた不幸はある。男は戦闘的である必要が減り、Y染色体は短縮され、容貌は美しくなり、女性も社会で活躍するようになってきた。しかし、男は若いうちから徐々に孤立し、女よりも腹の脂肪が増え、自殺率が増えているのだ。高度経済成長時代から時代が変わり、とまどう男たちに何が起きているのか。
出版社	大阪大学出版	
登録月日	H31.2	
登録番号	1554	

残業学

著者名	中原淳	超高齢化社会を迎え、あらゆる仕組みをアップデートする必要に迫られている日本。女性やシニア、外国人をはじめとした多様な人々の力が鍵となる中、それを拒む最大の障壁が、日本独特の働き方「残業」です。政府も企業も「働き方改革」を叫ぶ今、本当に必要なのはそれぞの「持論」ではなく、客観的なデータを基にした「ガチ」な対話。
出版社	光文社	
登録月日	H31.3	
登録番号	1557	

男性の育休 家族・企業・経済はこう変わる

著者名	小室淑江	広がりを見せる男性育休。 義務化議論も進む中、なぜ必要なのか、課題はどこにあるのかなどを、豊富なデータや具体例とともに解説する。
出版社	PHP研究所	男性育休は 皆が幸せになる社会への第一歩 日本企業の活性剤になる
登録月日	R3.3	
登録番号	1589	

あなたの会社、その働き方は幸せですか？

著者名 出口治明、上野千鶴子 働く人が自由になる社会を本気で考える。
性別フリー、年齢フリー、国籍フリーで働くのが、ホモ・サピエンス本来の在り方であり、これから社会が目指すべき働き方。個人差は性差や年齢差をやすやすと超える。

出版社 祥伝社 人間は一人ひとり顔かたちが違うように、「みんな違って当たり前」なのです。

登録月日 R3.8

登録番号 1592

こうして社員は、やる気を失っていく

著者名 松岡保昌 モチベーションは「下げる要因」を取り除けば、自然と上がる！「社員がやる気をなくす」には共通パターンがある。モチベーションを下げる要因の取り除き方を改善策とともに解説。疲弊する組織、離職率の高い会社に共通する”あるある”を反面教師として、改善策を心理的アプローチとともに解説。

登録月日 R4.12

登録番号 1611